

## 令和8年6月定例愛知県議会 知事提案説明要旨

皆さん、改めましておはようございます。初めに、今日のスーツも尾州のスーツでございます。よろしくお願ひいたします。さて、今日は早起きをして、まだ眠いという方もおられるかもしれませんが、まだお昼前でございますので、しばらくの間お付き合いの程、よろしくお願ひいたします。FIFAワールドカップサッカー大会が開幕しました。日本代表には、豊川市出身のディフェンダー菅原由勢選手が選ばれて、今日も後半出場されて、元気にプレーされておられました。まだまだワールドカップは始まったばかりでございますので、皆で、しっかりと菅原選手も日本代表チームを応援したいものでございます。よろしくお願ひいたします。

さて、本題に入ります。このたびの定例県議会に提案をいたしました諸議案のご説明を申し上げるに先立ちまして、県政を取り巻く最近の状況について申し述べ、議員の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

はじめに、国政の状況についてです。

国においては、5月26日に、令和8年度一般会計予備費の使用を決定し、7月から9月において、電気・ガス料金への支援を実施することとされました。

また、6月5日には、地域の実情に応じた支援を実施するための措置として、「重点支援地方交付金」などを盛り込んだ、令和8年度補正予算が成立したところです。

本県としても、国の補正予算に呼応し、特に早期に対応する必要があるものについては、この会議中に補正予算案を追加提出するなど、しっかりと対応してまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

次に、最近の経済情勢と本県の財政運営、経済・産業の活性化についてです。

我が国の経済は、緩やかに回復していますが、中東情勢が不透明である中で、今後の物価動向や経済に与える影響を注視する必要があります。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響に注意する必要があります。

こうした中、本県の財政運営について申し上げます。

2025年度の一般会計の決算は、2024年度に引き続き、実質収支を確保できる見込みとなりました。一方、本年度の当初予算では、アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催に必要な経費を計上するとともに、賃金・物価・金利の上昇の影響を反映し、人件費、扶助費といった義務的経費が大きく増加することなどから、多額の基金取崩しを計上して収支不足に対応したところであり、その結果、基金残高はほぼ枯渇しております。

こうした厳しい財政状況の中、今後の財政運営を考えますと、基金残高の回復に努めていくことが必

要でありますので、本年度内の財源確保に努めるとともに、「あいち行革プラン2025」に沿って、不断の行財政改革に取り組んでまいります。

また、経済・産業の活性化を進めることにより、地域の雇用を維持・拡大し、税収の確保につなげることも重要です。

「産業競争力強化減税基金」による補助制度においては、2012年度の創設以来、これまでに企業立地・再投資の分野で、556件の補助対象案件を採択し、総投資額約1兆418億円、約8万6千人の雇用維持・創出効果が見込まれるという、大きな成果を上げてまいりました。

さらに、研究開発・実証実験の分野においても、本年度の採択案件として82件、7億6千万円の支援を決定するとともに、これまでの開発成果の事業化や販路拡大を促進するため、6月4日から5日まで、愛知県国際展示場「A i c h i S k y E x p o」で開催された「A X I A E X P O 2 0 2 6」内において、「新あいち創造研究開発2026」を実施し、61企業・団体の出展を支援しました。

今後も、県内外からの企業誘引、産業の高度化や新しい産業の創出・育成により産業競争力の更なる強化を図っていくことで、世界の一步先を行く「産業首都あいち」、さらには「国際イノベーション都市」の実現を目指してまいります。

次に、2028年度に開催予定の全国高等学校総合体育大会、いわゆるインターハイの開催についてです。

5月25日に、関係自治体や競技団体、教育関係者等で構成する実行委員会の設立総会を開催し、私が会長に就任いたしました。

本大会は、東海ブロック4県において開催され、本県は幹事県として、総合開会式の実施を始め、大会運営の中心的な役割を担ってまいります。

本県では、総合開会式をIGアリーナで開催するほか、陸上競技を始め8つの競技を開催いたします。

インターハイは、「高校生による、高校生のための大会」として、競技に出場する選手が積み重ねてきた努力の成果を発揮できる舞台であるとともに、地元高校生が運営補助やボランティアとして主体的に大会を支えることも大きな特徴です。

高校生にとって生涯の財産となる大会となりますよう、開催準備を着実に進めてまいります。

次に、あいち観光セミナー・商談交流会についてです。

いよいよ9月から10月にかけて開催される、アジア競技大会・アジアパラ競技大会を前に、本県の観光地としての魅力をPRするとともに、大会後も持続的に観光誘客を促進するため、5月26日に、東京において「あいち観光セミナー&商談交流会」を開催しました。

当日は、県内の宿泊事業者・観光施設・観光協会等54社と首都圏の旅行業者等53社の合計107社にご参加いただき、過去最大規模の商談会を盛大に実施することができました。

私も講演を行い、歴史観光、山車文化、発酵食文化を始めとした愛知県の観光の魅力について、首都圏の

旅行業者等にPRしました。

今回の催しは、国内旅行、インバウンド、MICEを含めた総合的な観光商談会であり、会場では熱気ある商談が数多く繰り広げられました。県内の観光事業者からは、これまで接点のなかった旅行会社との商談もでき、大変有意義な機会となったという声を伺っております。

今後も、より多くの方に愛知へ足を運んでいただけるよう、商談会の開催に加え、地域資源を活用した旅行商品の造成など官民連携による取組を更に進めてまいります。

次に、中部国際空港の第二滑走路の整備についてです。

現在、「中部国際空港の将来構想」の第一段階として、現空港用地内において、2027年度に供用開始を予定している代替滑走路の整備が進められております。

こうした中、5月27日には、私が会長を務める「中部国際空港第二滑走路建設促進期成同盟会決起集会」と「中部国際空港拡充議員連盟総会」の合同会議を行い、その後、国土交通省始め関係方面に対し、第二滑走路建設に向けた今後の協力・支援や、航空ネットワークの充実にに向けた取組、カーボンニュートラルへの対応などについて、要請を行いました。

今後とも、国・空港会社と緊密に連携し、中部国際空港の第二滑走路の整備を始めとする機能強化、利用促進にしっかりと取り組んでまいります。

次に、リニア中央新幹線の建設促進についてです。

現在、県内では、リニア名古屋駅の新設工事のほか、約25キロメートルにわたるトンネル工事が全線で進められており、リニア中央新幹線の建設は着実に進捗しております。

5月27日には、私が会長を務める「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」の総会を開催し、早期全線整備の実現に向けた決議を行い、その後、沿線自治体の5人の知事とともに、酒井国土交通副大臣へ要請してまいりました。また、同日、自由民主党「超電導リニア鉄道に関する特別委員会」にも出席し、他の知事とともに、一日も早い開業への切なる思いを伝えました。

引き続き、日本の未来を切り拓くこのプロジェクトの早期実現に向けて、国を始めとする関係者と緊密に連携しながら、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

次に、FIA世界ラリー選手権ラリージャパンについてです。

5月28日から31日までの4日間、モータースポーツの最高峰の一つで、半世紀以上の歴史と伝統を誇る「FIA世界ラリー選手権(WRC)」の第7戦として「フォーラムエイト・ラリージャパン2026」が、愛知・岐阜で開催されました。

初の5月開催となった今回の大会は、名古屋城を望む愛知県体育館前、旧体育館前でのセレモニアルスタートの開催や、豊田市にある愛知県緑化センターの一部をコースとする藤岡スーパーSSの新設などにより、昨年を上回る53万5千人もの多くの方に観戦いただきました。

長久手市出身の勝田貴元選手は、表彰台にあと一步と誠に残念な結果でしたが、トヨタ・ガズー・レーシングが表彰台を独占するなど、今年も日本の多くの自動車関係者やモータースポーツファンの期待に応える素晴らしい大会となりました。

最終日に豊田スタジアムで行われ、私も参加しましたセレモニアルフィニッシュでは、シャンパンファイトではなくて、愛知の「ほうらいせん」などによるスパークリング日本酒ファイトなどで、会場は大いに盛り上がり、全ての関係者も誇らしく喜んでおられました。

来年も、愛知・岐阜での開催が決定しております。私も実行委員会の名誉会長として、開催市町はもとより都市部での盛り上げにも努め、愛知が国内外のラリーファンを引き付けるラリーの聖地となるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

次に、水素・アンモニアの社会実装の推進についてです。

本県では、水素社会の実現に向けた取組を進めているところですが、昨今の中東情勢を始めとした国際情勢の不確実性が高まる中、我が国のエネルギー安全保障を強化するために、国内で製造することができる水素を発電や輸送など幅広い分野で、より一層活用していくことが期待されます。

こうした現状を背景とし、燃料電池商用車導入の重点地域に選定された知事などの連名による「激動の国際情勢下での水素社会の実現に向けた一層の取組強化を求める緊急声明」を本県が中心となって取りまとめ、これは8都道府県知事と3政令市長の連名でございます、取りまとめ、5月29日に、首相官邸において、私を始め、小池東京都知事、内堀福島県知事、福田川崎市長、広沢名古屋市長、高島福岡市長とともに、高市内閣総理大臣に要請を行ってまいりました。

今回の要請では、企業が投資しやすい環境を整えるために、国が発行する「GX経済移行債」の水素・アンモニア施策への割り当ての拡充・延長や、国で検討されている「危機管理投資」・「成長投資」を促進する「新たな投資枠」における十分な割り当て、さらに、研究開発や需要創出、国際展開を加速させる「水素大動脈構想」などへの重点的支援、加えて、既に実施されている水素・アンモニアのサプライチェーン構築や燃料電池商用車の普及に対する、一層の支援を求めてまいりました。

これに対し、高市総理からは、水素は国内で生産することができる数少ないエネルギーとして「まさにピンチをチャンスに変えていくとき。官民連携による水素大動脈構想など、政府としても推進していく。」など、水素・アンモニアの支援に対し力強いご発言をいただきました。

本県としましては、今年度からFCタクシーの導入を支援するメニューを創設し、今年9月、10月に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会までにFCタクシーを50台、2030年度までに250台の導入を目指すなど、民間投資の促進を図ってまいります。

国、自治体、民間が志を共有し、引き続き、本県がアクセル役となり、関係者と連携しながら、水素社会の実現に向けてしっかりと取り組んでまいります。

次に、防災対策の推進についてです。

6月2日に開催した愛知県防災会議において、本県が独自に実施した南海トラフ地震の被害予測調査結果を公表いたしました。今回、12年ぶりに行った調査では、これまで進めてきた河川・海岸堤防の整備などにより、浸水面積が減少したものの、依然として県全体では建物・人的被害ともに、大きな被害が見込まれております。

地震の発生を止めることはできなくても、県民の皆様、事業者の皆様、地域、行政が一丸となって対策を進めていくことで、被害を確実に減らしていくことは可能であります。県民の生命・財産、生活や産業を守るため、2025年3月に策定した「あいち防災アクションプラン」に基づき、引き続き地震防災対策にしっかりと取り組んでまいります。

また、防災会議では、5月29日から国において新たな防災気象情報の運用が開始されたことに伴う、県の非常配備体制の見直しなどについて盛り込んだ地域防災計画の修正案を審議、決定しました。

6月からは出水期に入っており、近年、各地で大きな被害をもたらしている線状降水帯による豪雨も懸念されますので、迅速かつ適切に初動対応が行えるよう、引き続き緊張感を持って対応してまいります。

次に、「AXIA EXPO 2026」の開催についてです。

6月4日、5日の2日間、「A i c h i S k y E x p o」において産業展示会「AXIA EXPO 2026」を開催しました。

3回目の開催となる今回は、「愛知発、カーボンニュートラル社会の実現へ」というテーマの下、「水素・アンモニアテクノロジー」、「GXイノベーション」、「バッテリー&エネルギー」、「スマートファクトリー」の各分野で先端的な取組を行う企業の技術や製品の展示等が行われました。

これら4分野の構成展に加え、昨年度に引き続き、「アジアパビリオン」と「愛知県パビリオン」の2つのパビリオンを設置しました。「アジアパビリオン」では、中国、韓国、ベトナム、フィリピン、シンガポール、インド、台湾のアジア7か国・地域から先端的な製品・技術を有する企業などが出展し、国内外企業との交流やマッチングの機会を創出しました。

「愛知県パビリオン」では、県内の中小企業やスタートアップなどが出展し、生産現場の効率化やスマート化をテーマとした技術やサービスを展示しました。

また、展示以外にも、会場内に設置したメインステージにおいて、企業における最先端の取組や、業界の最新動向をテーマとした講演・パネルディスカッションを実施しました。今年度は、AXIOM SPACE 宇宙飛行士 兼 アジア太平洋区最高技術責任者の若田光一氏、トルコ出身のエコノミストで、レディーバードキャピタル合同会社代表のエミン・ユルマズ氏といった著名人を招いた講演を実施し、来場者に好評を得たところです。

本展示会に加えて、会場内では、先にも申し上げましたが、本県の補助金を活用した研究開発や実証実験の成果を展示する「新あいち創造研究開発展2026」も同時に開催し、企業による商談や交流が活発に行われました。

今後も、こうした産業展示会を誘致・開催していくことで、当地域の産業振興や地域経済の発展につなげてまいります。

次に、6月5日に名古屋市で開催された「第124回中部圏知事会議」についてです。

今回の会議には、新たに中部圏知事会の構成員に加わった山梨県を含む中部10県1市の知事、市長が参加し、社会インフラの整備、地方創生の推進、防災対策、少子化対策などの諸課題について協議し、国への提言17項目を取りまとめました。

国への提言の協議では、私から、「リニア中央新幹線の東京・名古屋間開業効果の最大化と一日も早い全線開業の実現」や「第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会の開催に対する支援」、「水素・アンモニアの需要と供給の拡大」について提案し、採択されました。

また、アジア競技大会・アジアパラ競技大会のPRも行い、中部圏の多様な魅力を世界に発信する絶好の機会でもある両大会を大いに盛り上げ、中部圏の一層の発展につなげていくことができるよう、各州市の引き続きの支援・協力をお願いしました。

今後とも、中部圏知事会の会長として、各県の知事や市長と力を合わせ、中部圏の更なる飛躍に向けて全力を尽くしてまいります。

次に、小田凱人選手の全仏オープンテニス2026制覇についてです。

6月6日に、フランス・パリのスタッド・ローラン・ギャロスで、全仏オープンテニスの車いす部門の男子シングルス決勝戦が行われ、一宮市出身の小田凱人選手が、全仏の4連覇、そして9度目の四大大会制覇の快挙を遂げられました。

県民の皆様とともに、心からお祝いを申し上げます。

本県ゆかりの選手が活躍されることは、県民に大きな夢と希望をいただくとともに、大変重い病気を克服された小田選手の活躍は、障害に対する理解を深めることにもつながります。

今後もさらなる高みを目指し、こうした世界の大舞台で活躍いただくこと、とりわけ、10月に行われる愛知・名古屋アジアパラ競技大会での金メダルの獲得を大いに期待しています。

次に、アジア競技大会・アジアパラ競技大会の推進についてです。

アジア競技大会の開幕まで96日と、目前に迫ってまいりました。

6月8日に、大阪の造幣局で開催された、「第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会記念貨幣打初め式」に私も出席し、選手の躍動感と本大会のマスコットが鮮やかにデザインされた記念貨幣の打初めを行いました。記念貨幣の発行を追い風として大会をさらに盛り上げてまいります。

また、6月11日、12日の2日間、アジア・オリンピック評議会（OCA）の調整委員会が名古屋市内で開催され、選手の宿泊施設等の視察や準備状況の報告を行いました。

6月11日には、「アジア競技大会100日前イベント」を名古屋市内で開催し、聖火リレーのトーチ

やユニフォーム、入賞メダルデザインの発表を行ったほか、名古屋駅前の「ナナちゃん人形」を大会PRデザインの衣装で装飾するなど、一層の機運醸成に取り組んでおります。

さらに、アジア・アジアパラ競技大会の開催を記念して、アジア競技大会の開会式当日に、ブルーインパールの展示飛行の実施が決定されました。

6月30日からは、全競技を対象としたチケットの一般販売を開始いたします。アジアのトップアスリートたちが繰り広げる熱戦を、ぜひ多くの皆様に間近で観戦いただき、応援していただきたいと思っております。

県民の皆様と一緒に大会を盛り上げ、組織委員会を始め、国、名古屋市、関係団体の皆様と力を合わせて、愛知・名古屋2026大会を成功に導いてまいります。

次に、女性の活躍促進についてです。

6月9日に、科学、技術、工学、数学といったSTEM分野での女性活躍を推進するため、本県と公益財団法人山田進太郎D&I財団及び愛知県経営者協会とで、全国初となる経済団体を交えた連携協定を結び、締結式には、私も出席してまいりました。

愛知県が全国一の「モノづくり」県としてさらに発展していくためには、モノづくりの基盤となるSTEM分野に、女性を始めとした多様な視点を取り入れることで、新たな価値を創造し、様々なニーズに応じた製品や技術を開発していくことが重要であると考えております。

今後は、山田進太郎D&I財団、愛知県経営者協会の皆様としっかりと連携し、女子中高生向けSTEM領域のツアー型体験プログラム「Girls Meet STEM」を始めとした様々な取組により、STEM分野を目指す女性の増加を図ってまいります。

また、6月10日には、取引先企業等に対し、女性の活躍促進に向けた取組を働きかけていただく、「あいち女性の活躍プロモーションリーダー」を企業・団体に委嘱し、この地域を力強く牽引していただきます。

こうした取組を着実に進め、愛知県の未来を担う女性たちが、存分に自らの能力を発揮し、活躍できる「日本一元気な愛知」の実現を目指してまいります。

次に、安全・安心なまちづくりの推進についてです。

本県の2025年の刑法犯認知件数は、ピーク時の約4分の1の水準となりましたが、直近では4年連続で増加しており、厳しい犯罪情勢となっております。

こうした状況を踏まえ、6月10日には、県、県警察、行政機関、事業者団体及び地域団体で構成する「愛知県安全なまちづくり推進協議会」を開催し、「あいち地域安全戦略2026」に基づく、2026年度版の「あいち地域安全県民行動計画」を策定しました。

本県としましては、この計画に基づいて関係機関と連携し、特殊詐欺や侵入盗、自動車盗などへの対策を講じてまいります。

あわせて、本県が中核となり、犯罪被害者支援全体のハンドリングを行う多機関ワンストップサービス体制により、犯罪被害者等への支援が途切れることなく提供できるよう、しっかりと取り組んでまいります。

今後も、「県民の誰もが安全で安心して暮らせる愛知」の実現に向けて、地域全体で安全・安心なまちづくりを推進してまいります。

次に、交通安全対策の推進についてです。

本県の交通事故情勢は、今年に入ってから交通死亡事故が多発しており、全国でワースト上位を推移する大変厳しい状況となっております。

このような中、6月4日に、県、県警察、国及び関係団体の代表者による「愛知県交通安全対策会議」を開催し、2026年度から2030年度までの5年間に実施すべき総合的な交通安全対策である「第12次愛知県交通安全計画」を策定したところであります。

この計画では、「2030年までに年間の交通事故死者数を100人以下にする」との目標を設定し、「道路交通環境の整備」、「交通安全思想の普及徹底」、「安全運転の確保」を始め8つの施策により、交通安全対策を実施することといたしました。

今後は、この計画に沿って、県警察や市町村、関係諸団体と連携し、各季における交通安全運動を始め、交通安全対策を推進することにより、計画に掲げた目標の達成に向け、交通事故の減少に全力で取り組んでまいります。

それでは、今回提案をいたしております補正予算案及びその他の議案につきまして、その概要を申し上げます。

まず、補正予算についてです。

補正予算の総額は、59億8,585万余円で、会計別では、一般会計で58億8,655万余円、企業会計で9,929万余円を増額補正するものです。

補正予算の主な内容ですが、まず、愛知県美術品等共同収蔵庫の整備についてであります。これは、美術品等の収蔵能力の限界を迎えつつある、愛知県美術館等の県立3施設の収蔵庫について、早急に収蔵スペースを確保する必要があるため、全国初となる県立3施設共同で作品を保存するための施設の整備・運営をPFI手法（BTO方式）により行うこととし、事業者の選定手続きを進めるため、債務負担行為を設定するものです。

また、自動運転高速バスの社会実装に向けて、高速バスとしては全国初となる2027年度の自動運転レベル4の社会実装を目指して、取組を強化してまいります。

次に、国の「高校教育に関する基本方針（グランドデザイン）」を踏まえ、県立高等学校4校を改革先導拠点校とし、「アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援」、「理数系人材育成支援」、「多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保」の3類型に応じた先導的な取組を推進してまいります。

さらに、「高度なものづくり人材」を育成するため、県立高等専門学校の設置に向けて、併設する愛知総合工科高等学校の既存校舎の一部を 普通教室や教員室に改修するための実施設計を進めてまいります。

また、新がんセンターの整備については、これまでPFI手法を含めた具体的な整備方式の検討を行ってまいりました。

その結果、施設の特異性が高く、現状でPFI手法の活用が難しいと考えられる病院棟と研究棟については、工期短縮とコスト削減においてメリットのある設計・施工一括方式により、民間事業者のノウハウを活かすことができる、エネルギー施設、飲食・売店施設については、PFI手法によりそれぞれ整備することとし、2034年度末の新がんセンター完成に向けて基本設計を進めてまいります。

次に、補正予算案以外の議案についてです。

今回提案をいたします案件は、条例関係議案が6件、その他の議案が23件です。主な案件につきまして、ご説明申し上げます。

まず、愛知県カスタマーハラスメント防止条例の一部改正については、労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律の一部改正に伴い、事業者の責務に関する規定を整備するものです。

次に、その他の議案のうち、愛知県公立大学法人定款の変更につきましては、現在設置準備中である、愛知県立高等専門学校の初代校長予定者を新たに理事として法人運営に参画させるため、役員定数の変更をするものなどです。

次に、工事請負契約の締結については、大府警察署（仮称）庁舎建築工事に係るものなどです。

最後に、人事案件でございますが、公安委員会及び人事委員会の委員の任期満了に伴いまして、その後任者を選任するものです。

以上、提案をいたしております案件の主なものにつきまして、その概要をご説明申し上げましたが、詳細につきましては、議事の進行に伴いましてご説明を申し上げたいと存じます。

どうかよろしくご審議の上、適切にご議決を賜りますよう、お願いを申し上げます。ありがとうございました。